

審議会等の会議結果報告書

課所名	生涯学習課 博物館
-----	-----------

会議名	令和7年度 第1回諏訪市博物館協議会
開催日時	令和7年8月7日(木) 午前10時00分～11時20分
出席者	委員 樋口公男委員長 平林富美子副委員長 宮坂早苗委員 古畑しずゑ委員 涌井みち子委員 百瀬一郎委員 小林健治委員 事務局 三輪教育長 細野教育次長 小林課長 土田館長 児玉主査(学芸員) 三嶋主査(学芸員) オブザーバー 岩波教育委員
欠席者	河手正彦委員 百瀬美津穂委員 桃井義弘委員
資料	令和7年度第1回諏訪市博物館協議会資料、協議会委員名簿、諏訪市博物館条例・規則、教育振興基本計画(抜粋)、『「諏訪史」関連資料写真集』、『諏訪市博物館研究紀要』、『特別展「諏訪のお殿さま」展示図録』

報告・協議事項及び会議結果(要旨)

- 報告事項
 - ・第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和6年度事業報告について
 - ・第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和7年度事業経過報告・事業予定について

■協議事項

—視察— 収蔵庫において令和8年度事業にて展示予定の岩波其残資料を見学

① 第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和8年度事業構築に向けた計画について(意見交換)

主な意見(令和8年度事業として考えている「岩波其残展」について)

- ・岩波其残の特別展は過去に開催した他館とは違う要素を取り入れ、諏訪の独自性を出すといい。
- ・下諏訪町立諏訪湖博物館で開催したときは“かわいいの原点”という新しい視点が話題を呼んだ。
- ・地元に残っている其残の作品はまだ多くあるはずだが、其残は真偽を見極めるのが非常に難しい。
- ・真偽を見ることに注力するよりも、来館者に其残の画風を真似て絵を描かせてみたらどうか。
- ・今までにない新しい切り口でやってみるのは面白い。市民参加型の取組はぜひやってほしい。
- ・其残の作品は細かく描かれているところを来館者には見てもらいたい。ワークショップはぜひ企画していただき、其残という人物がどんな人かよくわかるような展示にしてもらいたい。

② すわ大昔情報センターの更なる活用に向けた取組について(意見交換)

主な意見

- ・歴史の相談がある人を呼ぶのではなく、何か仕掛けを作って呼び込むほうがいいのではないかと。
- ・情報センターでは、質問や相談を随時受け入れているため、特定の日時を設ける必要はなく、「なんでも相談室」は廃止しても不都合はない。
- ・利用者数が減少していても、一人でも利用者があるなら相談室は続けてもいいのではないかと。
- ・わからないことがあったときに、図書館に行って一人で本で調べるよりも博物館に行けば聞ける、ということをもっとアピールすべきではないかと。
- ・施設自体があまり知られていないのではないかと。センター発信のイベントを開催したり、学校の授業に博物館やセンターの人が出向き授業の一端を担うなど施設の存在をアピールしたらどうか。
- ・施設自体や、調べものは情報センター、ということをもっと学校の先生に知ってもらいたい。

—閉会后— 特別展「諏訪のお殿さま」展示観覧

